



埼玉県上下流交流事業 「水源わくわくセミナー」

ダム建設が進む群馬県吾妻郡長野原町を訪問し、ハッ場ダムの役割や地元の皆様の苦労などを理解してもらうとともに、サッカー教室を通じて地元の小・中学生との交流を図る。

- 活動場所** : ハッ場ダム建設地（群馬県吾妻郡長野原町）
- 取組テーマ** : ダイバーシティ（共生社会）／持続可能な地域づくり／教育
地域のコミュニティ／環境
- 協働者** : 住民／行政
- 協働者名** : 埼玉県、埼玉県企業局、国土交通省関東地方整備局ハッ場ダム
工事事務所、群馬県、群馬県長野原町

活動で工夫した点

親子での参加など多くの方が参加しやすいよう夏休みに開催したこと。
／ダム見学のほか、クイズ大会やサッカー教室後のミーティング、サイン会、落合キャプテンの講話など、参加者交流ができる時間を多く設けたこと。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

活動初期の頃は整備されたグラウンドがなく、前日から小石拾いやライン引きなど暗くなるまで準備をしていたと聞いています。／開催にあたって、地元の町や県、国土交通省など準備から終了まで数多くの協力が必要なこと。

クラブや地域の活動後の変化

20年以上も続けていることから、地元の皆さんにとっても毎年楽しみにしている恒例事業となっている。／定着してきたことにより、より一層の水源地域振興を図るといった次なるステップにつながっている。／サッカー教室という子供たちが楽しみながら参加し交流できる事業だからこそ多くの人に喜んで参加してもらうことができ、それを通してダムや水源地域への理解が進みお互いの立場や状況を思いやる気持ちが育まれている。



協働者の声

埼玉県担当課の声：サッカーという身近なスポーツだからこそ取り組みやすく、多くの関心を引くことができるとともに、活動を通して多くの人の心を動かすことができました。サッカーの持つ力を改めて認識しました。普段は全く違った環境で仕事をしている人たちがこの事業に関り、全ての人が少しでも良いものにしようという全力で取り組んでくれる姿に感動しました。

参加者の声

子供：とにかく楽しかった。サッカー教室はコーチが優しく丁寧に教えてくれたので夢中になった。サッカーが上手になれるほかにも水の大切さやありがたさがわかった。大人：子供がとても楽しそうで生き生きしていた。サッカーの技術の他にも、水源地の方々の苦労や水のありがたさなど多くの大切なことを学べた。

活動の「ここぞ！」というPRポイント

多くの協働者の協力によって一つのことが成し遂げられることの達成感や、参加者の皆さんにもサッカーを通し、たくさんの事を伝えたり感じたりしてもらうことができること！

補足

浦和レッズ（ハートフルクラブ）は、平成8年から長年にわたり参画した功績が認められ、昨年、国土交通大臣から水資源功績者表彰を受賞しました。